

## 利用案内

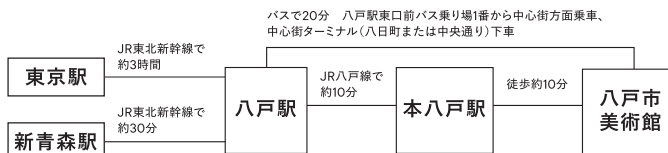
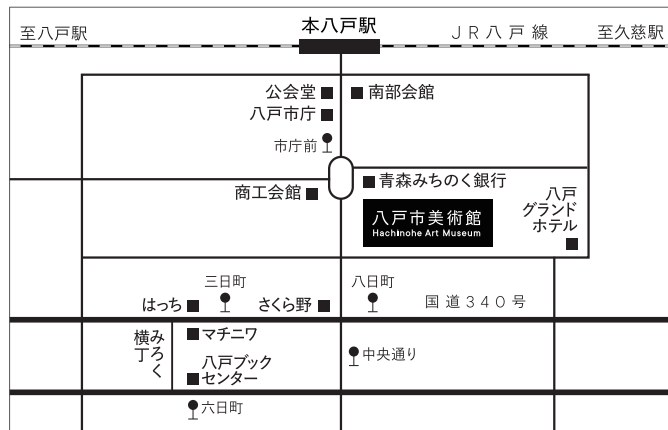
開館時間 | 10:00～19:00

休館日 | 火曜日(祝日の場合はその翌日)、  
年末年始、そのほか施設修繕、メンテ  
ナンスなどにより臨時休館とする場合  
があります。

## 観覧料

企画展およびコレクション特別展示 |  
展覧会により料金が異なります。  
コレクションラボ展示 | 無料

## アクセス



飛行機で | 三沢空港から空港連絡バスで約55分 八戸八日町下車

お車で | 八戸自動車道八戸ICより中心市街地方面へ約15分

一般来館者用の駐車場はございません。周辺の駐車場をご利用ください。

〒031-0031 青森県八戸市大字番町10-4

TEL 0178-45-8338 / FAX 0178-24-4531

公式ホームページ <https://hachinohe-art-museum.jp>

デザイン | LABORATORIES イラスト | 新地健郎 建築写真 | 阿野太一

八戸市美術館  
Hachinohe Art Museum



# 八戸市美術館 Hachinohe Art Museum



種を蒔き、人を育み、  
100年後の八戸を創造する美術館  
～出会いと学びのアートファーム～



Concept

八戸市美術館は、アートを通じた出会いが人を育み、人の成長がまちを創る「出会いと学びのアートファーム」をコンセプトとしています。従来の「もの」としての美術品を展示する空間に加え、「ひと」が活動する空間を大きく確保することで、「もの」や「こと」を生み出す新しいかたちの美術館として、新たな文化創造と八戸市全体の活性化を図ることを目指します。従来の立場や枠組みを超えて、アートと人との出会いの輪が広がり、そこから得た学びが栄養となって人々の感性や創造力が育まれ、まちや暮らしをより豊かなものにすることを期待しています。





## 展覧会

「展覧会」では、誰もが気軽にさまざまなアートに触れられる機会を提供します。八戸の特徴や独自性への理解を深めるために、地域に関連した、あるいは比較対象となる、過去から現代に至る国内外のアートを扱います。美術品として向き合える展示室を中心に、独自の企画展に加え、収蔵作品から構成されるコレクション展、他美術館などと連携した巡回展などを展開していきます。

## プロジェクト

「プロジェクト」では、アートを通して人と人が出会い、学び、一緒に活動し、作品だけでなく新たな価値を生み出します。市民やアーティスト、専門家、美術館スタッフなどが同じ場で学び、共につくすることで、完成形だけでなくプロセスも共有することが特徴です。ジャイアントルームを中心に、作品について語り合ったり、次の展覧会の準備をしたり、学校の先生たちの研究発表が行われたり、時には美術と異なる分野の活動で盛り上がり、いつもワイワイガヤガヤと活気を生み出す活動を展開していきます。



## アートファーマー

美術館活動に主体的に関わる市民を、アートでコミュニティを耕して育む「アートファーマー」と呼び、さまざまな経験ができる環境をつくり出します。さまざまな属性の人々や地域資源が出会い、アートを通して地域社会のことを考えたり、アーティストとの創作活動に取り組んだりする「アートファーマープロジェクト」を継続的に実施します。

## 共創パートナー

美術館活動と一緒に市民や団体、教育機関、企業などを「共創パートナー」と呼び、地域の新しい価値を生み出していきます。美術館が企画した活動のみを行うだけでなく、さまざまな立場の人たちが美術館とともに企画をつくり出すことで、アートを通じたさまざまな視点から地域を捉えた活動が生まれていきます。

## 学校連携

「学校連携」では、学校教育の現場が大きく変わりつつあるなかで、アートの学びを重視する美術館として、教育機関との連携強化を図ります。小学校・中学校・高等学校との連携では、子どもたちの力を伸ばして自ら新しい価値をつくり出せる人を育てるために、美術館から学校へと広がっていくプログラムを行います。また、各校種の教員、美術館の学芸員、専門家による「学校連携プロジェクトチーム」をつくり、プロジェクトを展開していきます。大学・高等専門学校との連携では、特徴的な活動を行っている市内の大学・高等専門学校と美術館が持つ専門性を、経済や福祉、まちづくりなど他業種や他分野に融合させるプログラムを行います。

Art Farmers



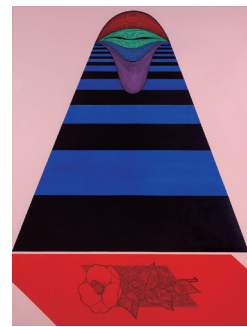
Co-Creation Partners



School Partnerships



1



2



3



4



5



6



6

## コレクション

「地域の芸術や文化、まちの歩みに寄り添いながら、未来を見据え、多様な価値観を創出し、人を育むための美術資料の収集を行う」という理念のもと、日本画、洋画、版画、書、彫刻、工芸各分野の美術品など約3,000点をコレクションとして収蔵しています。主なコレクションは、橋本雪蕉、七尾英鳳、渡辺貞一、石橋宏一郎、月館れい、豊島弘尚、戸村茂樹、宇山博明、佐々木泰南、石橋忠三郎などの八戸ゆかりの作品を中心に、棟方志功、島岡達三、舟越保武といった著名な作家の作品などから構成されています。また、昭和30～50年代にかけて学校教育の現場で制作された教育版画作品は、地域に寄り添い人を育む美術品として、コレクションの一角を成しています。

Permanent Collection



1. 七尾英鳳《湖上月影》制作年不詳 2. 豊島弘尚《墓獅子舞A》1968 3. 八戸市立湊中学校養護学級生徒《虹の上をとぶ船総集編II 星空をベガサスと牛が飛んでいく》1976 4. 戸村茂樹《森・光と陰II》1992 5. 佐々木泰南《阿吽》1979 6. 石橋忠三郎《マーク》1996





### ホワイトキューブ

White Cube

本格的な展覧会を行うための  
さまざまな美術品に対応する  
白い展示室。



### ブラックキューブ

Black Cube

映像作品に対応する  
暗転可能な黒い展示室。



### スタジオ

Studio

パフォーミングアーツ、展示、講演に  
対応する天井の高い部屋。  
遮音性能を持ちます。



### ティールーム

Tea Room

交流のための部屋。  
カウンターを持ちます。

### ギャラリー

Gallery

市民の表現の場となる展示室。  
マエニワに向けた窓を持ちます。



### ワークショップルーム

Workshop Room

市民の本格的な創作の場となる  
ワークショップに対応する部屋。

### 会議室

Meeting Room

会議、控室などのさまざまな  
目的に対応する小さな部屋。



### アトリエ

Atelier

アーティストなどの専門家の  
制作の場となる部屋。

### マエニワ・オクニワ

Mae-niwa Plaza / Oku-niwa Plaza

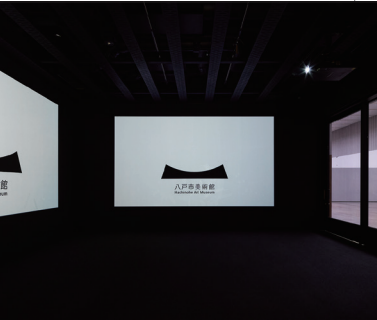
市民が集う、まちに開いた広場。  
さまざまなベンチを持ちます。



### ジャイアントルーム

Giant Room

さまざまな活動を受け入れる  
「ひと」のための大きな部屋。  
可動式の家具、カーテンにより、  
交流、プロジェクト、展覧会など、  
さまざまな場をつくり出します。



### コレクションラボ

Collection Lab

コレクションを紹介するための  
美術館における実験室のような  
小さな展示室。

